

Notice on Plankton Seminar

#08014

9:30-11:30, 16 Sep. (Tue.) 2008 at Room #W203

おしよろ丸第190 次北洋航海乗船報告

2008年6月2日から7月31日までおしよろ丸第190次北洋航海に乗船した。本航海は天皇海山での調査、セジメントトラップ回収を主に行ったレグ1と、ベーリング海における調査のレグ2、チャクチ海における調査のレグ3、そして定時ネット観測、Site Hでの観測を主に行ったレグ4から構成されていた。

プランクトン教室の観測として、NORPAC ネットを用いた定量採集、ガマグチネットを用いた鉛直区分採集、ニスキン採水器を用いたクロロフィル分画・セルカウント用の採水を行った。また、CTD 観測やXCTD、ケプラー採水、クリーン採水、ターボマップ、コアサンプラー、流し網、ボトムトロール、延縄、ボンゴネット、稚魚ネット、63 μ mメッシュネット、鯨類目視といった他講座や他大学の観測も手伝った。

レグ1のSite Hでは、NORPACネットによる採集(0-150 m、0-500 m)を行い、ニスキン採水器で採水した海水を20 μ m、2 μ m、GF/F フィルターのメッシュで分画濾過した。その後DMF に浸して一昼夜色素を抽出し、ターナー蛍光度計を用いてChl. *a*濃度を測定した。また、セルカウント用の採水を行った。セジメントトラップ定点ではNORPACネット採集とガマグチネットによる0-50,50-250,250-500,500-1000,1000-2000 mの鉛直区分採集を行った。試料は船上で1/2分割し、半分を九州大学に提供した。

レグ2ではNORPACネット採集、166Wライン及びその他の10定点においてChl. *a*蛍光ピークの水深においてセルカウント採水を行った。

レグ3においてもNORPACネット採集に加え10定点においてChl. *a*蛍光ピークの水深においてセルカウント採水を行った。また、ケント州立大学の63 μ mメッシュネットによる有孔虫の採集も手伝った。

レグ4では定時ネット観測として、毎日22時にNORPACネットでの採集を行った。Site Hではレグ1と同様の観測を行った。その他にオープンキャンパスで高校生が生きたプランクトンを見ることが出来るように、0-500 mのNORPACネット採集で得られた生鮮試料を、冷蔵して研究室に持ち帰った。

北洋航海で得た有形無形の財産・経験を今後の研究に生かしていきたいと思う。

扇航平 大西由花 本間智恵

次回(9/22)のゼミは扇君と大西さんをお願いしています。